



“梅雨空を吹き飛ばす！子どもたちの明るい元気な声”

6月をふり返って…

ここ数年来、この時期から猛暑が続く天候になっていましたが、今年は「梅雨らしい」天候が続いています。雨が降ったり、蒸し暑かったりする陽気の中でも、おかげさまで学校内には明るく元気な子どもたちの声が響いています。

プール開き！

「今日は水泳できるかなあ…」朝、プールバックを持って登校してくる子どもたちの会話からよく聞こえてきます。PTA作業できれいにしていたプールにきれいな水が溜められ、15日（月）に全校でプール開きをしました。代表して6年生2名が、水泳の目標を発表してくれました。



水泳の授業は7月末までになりますが、安全には留意して、一人一人の目標に向かって、たくさん泳いで体を鍛えてほしいと思います。

5年生「峰の原自然体験学習」

23日（火）・24日（水）に、5年生が1泊2日の日程で「峰の原自然体験学習」に行ってきました。1日目の午前根子岳登山、午後「こもれびホール」でクラフト体験、夕方からキャンプファイヤーを行いました。2日目は飯ごう炊さんをして、午後「宇原川災害復旧記念碑」を見学して帰校しました。5年生全員が元気に参加し、思い出に残る行事になったようです。

（根子岳登山の様子：学級だよりから抜粋）

根子岳の登山口に着くと霧と小雨がお迎え。しかし、空を見るとなんと綺麗な虹が出ていました。標高2,207mの頂上を目指し、子どもたちは綺麗な景色に感動の声を上げながら、一步一步順調なペースで登っていきました。10:50に頂上到着。参加した児童全員が頂上に辿り着くことができました。「苦しくとも一生懸命登る姿」など、普段の生活では得られない貴重な体験になったと思います。



「恕」(思いやる心) 校長講話で

16日(火)の朝の校長講話では孔子の「論語」からひとつの話をしました。

ある日、弟子の一人が孔子先生に尋ねました。

「人として生きていく上で、いちばん大事なことを、ひとことで教えてください」と。すると、孔子先生は、

「それは『恕』(じょ)だ。恕とは、人を思いやる心だ」と答えました。そして続けて、

「人を思いやることで大事なことは、『自分がされていやなことは、人にもしないことだ』」といました。講話の前に4～6年生にアンケートをとってみました。



○「人から言われてうれしい言葉は何ですか」

→ ありがとう!　すごいね、うまいね!　だいじょうぶ?(心配してくれる言葉)

○「人からされてうれしかったことは何ですか」

→ 困っているときに、助けてくれた・手伝ってくれた・教えてくれた

一緒に遊んでくれた・遊びにさそってくれた　「がんばって!」と、おうえんしてくれた

●「人から言われていやな言葉は何ですか」

→ 死ね・消えろ　バカ・アホ　きもい・ブス　いやなあだ名でよばれる

●「人からされていやなことは何ですか」

→ 悪口やからかいを言われる　けられたり、なぐられたりする

仲間はずれにされる　物をこわされる・とられる

最後に、人に対して「死ね・消えろ」なんて絶対に言ってはいけない言葉だと話しました。そしてこれからの高甫小学校では、人が嫌だと思ふことはなくしていき、みんながうれしくなる言葉や行動が増えるように頑張っていこうと話しました。

引き渡し訓練ありがとうございました

18日(木)には、「大雨による河川の増水や道路の冠水」を想定して、引き渡し訓練を実施しました。保護者の方にご理解・ご協力をいただき、ひじょうにスムーズにお子さんの引き渡しができました。当日は、2時間目に「不審者対応訓練」も実施しました。大事なお子さんの命を預かる学校として、何も起きないことが一番ですが、何かあったときにも適切に対応できるように日頃から意識していきたいと思ひます。

1学期も残すところ、あと3週間あまりとなりました。しっかりとまとめをして夏休み(7/24～8/23)を迎えたいと思ひます!